



平成22年度

株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況

「開業5周年記念イベントの様子」



《レストラン「華ごぶし」》

地域食材供給施設

（株）五霞まちづくり交流センターの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間の経営状況が公表されましたので、お知らせします。道の駅「ごか」は平成17年4月23日のオープン以来、来場者数は順調に増加しています。平成22年度における施設延べ利用者数（レジ通過者）は、約96万人、農産物直売所を含む総売上高は約10億円、交流センターとしての経常利益は約2,890万円になりました。

様々な地域食材を利用した食事を提供し、家族連れや観光団体での来店が多く、愛ちゃんうどんやローズポークを使ったメニューも大変好評いただいております。

《軽食コーナー（加工施設）》

幅広い客層に利用され、特に大人気のローズポークまんに加え、ジェラートやラスクもご好評いただいております。



《農産物直売所「わだいわ菜」》

茨城むつみ農業協同組合に経営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地場産農産物を求めて多くのみなさんに利用されています。道の駅「ごか」の活気をより引き立てています。

情報施設・交流広場

情報施設では、道路情報や地域情報を検索できるシステムが備わっており、様々な道路利用者に利用されました。

《震災の影響》

震災直後、道の駅においても、営業時間の変更や商品が品薄の時期もありましたが、現在では、営業時間と品揃えは回復し万全の体制となっております。みなさんのご来店をお待ちしております。

**売上割戻金
約1,100万円を
町に納付**

平成22年度分の売上割戻金として、（株）五霞まちづくり交流センターから町に対し1186万8285円が納付されました。

この割戻金については、道の駅「ごか」における今後の修繕費用等へ充てる予定です。